

# 平成 26 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		部課コード	080300	TEL	2991-1813		
事業コード	080319	乳幼児健康診査事業	健康づくり支援課				
開始年度	昭和 40 年度	→	終了年度	平成 年度			
②事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令		
分野別計画・指針	所沢市次世代育成支援行動計画				母子保健法、所沢市4か月児健康診査実施要綱、所沢市10か月児健康診査実施要綱		
関連・類似事業	訪問指導事業(乳児家庭全戸訪問事業)、幼児の育成指導事業						
総合計画の体系	章	健康・福祉	節	保健・医療	基本方針		
事業開始の背景	子育て家庭を支援します						
母子保健法が施行され、厚生省令の定めるところにより健康診査を行うこととなった。1歳6か月児健康診査は昭和53年から、3ヶ月児健康診査は昭和54年から開始した。なお、3歳児健康診査は昭和40年に保健所を実施主体として開始し、平成9年母子保健事業の移譲にともない市が実施主体となった。平成24年度より3か月児健康診査を4か月児健康診査に変更した。平成24年7月より、所沢市医師会に業務委託し、新たに10か月児健康診査(個別健診)を開始した。							
③事業の内容							
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 乳幼児期における疾病や発育発達上の問題の早期発見及び、乳幼児の健康の保持増進を目的とした情報提供や助言など、保護者に対する育児支援(虐待予防の観点も含む)を行う。							
対象(誰を、何を対象としているのか) 4か月児健康診査:満4か月から5か月10日までの児 10か月児健康診査:満10か月から満1歳の誕生日の前日までの児 1歳6か月児健康診査:満1歳6か月児から満2歳の誕生日の前々日までの児 3歳児健康診査:満3歳3か月から満4歳の誕生日の前々日までの児							
対象数		単位	平成 24 年度	10,307	人		
平成 25 年度			11,007		人		
事業の具体的な内容及び実施方法 (4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査) 住民登録及び外国人登録より対象者を抽出し、対象者に対して実施日時等を個別に通知。保健センターを会場とし集団による健康診査を、4か月児健康診査は年36回(月3回)、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査は年24回(月2回)実施している。医師・歯科医師・保健師・看護師・歯科衛生士・栄養士・その他の従事者を各健康診査毎に編成し、多面的な健康診査を行っている。(内科健康診査および歯科健康診査については、所沢市医師会及び所沢市歯科医師会と連携を図っている。) (10か月児健康診査)住民登録及び外国人登録より対象者を抽出し、対象者に対して個別に案内を通知。対象となる月齢の期間内に市内の委託医療機関において個別に健康診査を実施している。							
④経費							
＜会計種別＞		一般会計	平成 24 年度 (千円)	平成 25 年度 (千円)	平成 26 年度 (千円)		
当初予算			48,836	52,201	52,648		
決算(見込み含む)			41,633	46,779			
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		( 0.00 人) ( 0.90 人)	( 0.00 人) ( 1.25 人)	※「財源内訳」について 平成26年度のみ、当初予算の内訳となっています。			
正規職員人件費		5.92 人	52,463	4.50 人	39,996		
事業費合計			94,096	86,775			
財源内訳		一般財源	94,096	86,775	52,648		
		国・県支出金	0	0	0		
		その他( )	0	0	0		
⑤実績							
項目名		項目説明	単位	H 24	H 25	H26見込み	将来目標
活動実績	実施回数	各集団健康診査の実施回数合計	回	83	84	84	
	対象者数	健康診査の対象者数合計	人	10,307	11,007		
	受診者数	健康診査の受診者数合計	人	9,625	10,341		
⑥成果							
項目名		項目説明	単位	H 24	H 25	H26目標値	将来目標
成果指標	受診率	受診者数÷対象者数×100	%	目標値	100	100	100
				実績	93	94	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	93	94
				↑どちらかをチェックしてください			
⑦改善点							
平成25年度中に改善した点(どのように改善したか、それにより何がどうなったかを具体的に記載してください) 3歳児健康診査において、視力・視覚異常のスクリーニングの改善を検討し、自宅での視力検査方法をランドル環から絵視標に変更したことで自宅で視力検査できる児が増えた。 また、自宅で視力検査できなかった児に対して、健診会場内で再検査を試行的に実施し、平成26年度からの健診会場内視力検査実施に向けて検討を行った。 4か月児健康診査の離乳食コーナーにおいて、参加者が離乳食の作り方を視覚的にイメージしやすい様おかゆの作り方を映像で流すことを試行的に実施し、平成26年度からの実施に向けて検討を行った。							
⑧評価							
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	医師会や関係機関と連携を強化し、より充実した事業を目指していく。			
	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	乳幼児の発育・発達の確認、保護者に対する育児支援、虐待防止の観点から、今後も引き続き実施していく必要がある。			
今年度の状況と今後の方向性							
乳幼児健康診査は、これまでの発育・発達の確認に加えて、母の気持ちに寄り添う育児支援を行うことが重要である。また、多職種による健診を実施していることから、虐待防止についても大きな役割を担っている。今後も医師会をはじめ関係機関との連携を強化し、より充実した健康診査を目指していく。							
評価日		H26.8.1	評価者職氏名			健康づくり支援課長 岸 健次	
⑨環境影響							
有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成、医療廃棄物の排出	規制を受ける環境法令等	無	
				緊急事態	有		